

いかなる農夫も作物に対する限りただ誠あるのみで
虚偽は許されない。故に人を道徳的にならしめる。
木石を相手にする工人にも道徳が与えられる。物
のみでなく生命をも相手にする農人が愛なる要素
を加えてさらに人間性を豊かにする。農人は求めず
意識せずして道徳を授かる民族中の恵まれた階層
であり、農業は道徳をも育てる。それにより民族の
健全性が保たれ「農は国の基」となる。其の道徳教
育は可能であり技術訓練の中にも生れる。このこと
は教育を科学する現代の教育方法にとりて一考を
要することと思う。

磯永吉追想録、農業と道徳(遺稿)より

特別展示 台湾蓬萊米の父
磯永吉
(福山市出身)

